



掛合中だより

令和5年度 2月号
雲南市立掛合中学校
2024. 2. 20 発行
文責 難波 順子



学校教育目標：ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成

<https://shimane-school.net/unnan/akeya-chu/>

冬来たりなば春遠からじ



立春を迎え、校庭の桜の木でも、右の写真のように花芽が多く見られるようになりました。

『冬来たりなば春遠からじ』

この言葉は、イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」という詩の最後の一節から来ています。

The trumpet of a prophecy ! O, Wind, 西風よ 予言のラッパを吹き鳴らせ
If Winter comes, can Spring be far behind ? 冬が来たなら、春の遠いことがあり得ようか。

作者の、時代に対する改革への気持ちを表した詩と言われ、冬が来たということは春はすぐそこまで来ている、と詠んだことから、つらい時期を乗り越えれば幸せな時期は必ず来るということたとえとなり、日本でも「冬来たりなば春遠からじ」の和訳で有名になりました。

この詩に出会ったのは、大学時代、英語の授業の時でした。この詩は1819年に作られており、それはナポレオンのいた時代であり、日本は江戸、寛政の改革から天保へと移っていく頃です。ですから、この詩の原文は、英語の「古典」です。それも詩であるので、翻訳はもちろん、詩の意味を解釈することすら難解で、苦勞したのを覚えています。今のように、インターネットもありませんでした。それでも、教授の解説によって、その難解な詩の最後の一節が、日本でも有名な「冬来たりなば～」の原文と知った時には、「へえ～そうなんだ。」と遠い国の大昔の詩が少し身近に感じられ、それまでの苦勞が報われたような気になったのを覚えています。

教員になってからは、中学3年生を担当する度にこの言葉を受験生に送りました。

今受験生の皆さんは、高校に合格するために一生懸命勉強をしています。知識の詰め込みと解法トレーニングの繰り返し・・・と思っていることでしょう。しかし、一生懸命取り組むことで、できた喜びや達成感も同時に増えているのではないのでしょうか。今の努力が次へのステップに繋がり、得た知識は思いがけないところで活用されたり自分を豊かにしてくれたりします。それを楽しみに努力を続けてほしいと思います。冬来たりなば春遠からじ・・・皆さんの健闘を祈ります。

能登地方の皆様にも早く春が訪れますように・・・。



3年生最後の期末試験

◆雲南ウインターバンドフェスティバル 吹奏楽部

1月21日(日)加茂文化ホールラメールにて、吹奏楽部が参加しました。1部では、3名がアンサンブルコンテストで金賞を受賞した曲を披露しました。Ⅱ部では旧飯石&飯南合同バンドとして、一般の方・高校生と共に大迫力の演奏を披露しました(写真下)。市が進めている部活動地域移行の活動としても位置づけられ、生徒達は多くの刺激を受けています。



◆中学校柔道三隅大会 柔道部

1月27日(土)28日(日)に浜田市立三隅中学校で錬成会並びに中学校柔道三隅大会が行われました。大会では、男女ともに団体戦と個人戦に出場しました。結果は個々に違いますが、それぞれが確実に上達している姿が見て取れました。県外チームとも対戦し、技を磨きました。



男子団体は、1回戦：大田一中に勝利、2回戦：賢心館(広島)に敗退、女子団体は1回戦浜田三中に敗退。個人戦は、それぞれの階級に8名が出場しました。

◆鳥屋尾 敬先生 寄贈絵画 除幕式を行いました

2月8日(木)本校に勤務しておられた画家の鳥屋尾 敬先生から寄贈された絵画の除幕式を行いました。

これは、本校卒業生の長島佳生様が、掛合中学校のために鳥屋尾先生に絵の寄贈をお願いされたことがきっかけでした。そして、同時期に生徒でおられた石飛厚志雲南市長様、市教育委員会の方々のお力で実現しました。

校内に本物の絵画に触れる環境を作っていただいたことは、心豊かな生徒の育成に大変有益なことと思っています。式では、卒業生長島様より今回の絵画寄贈に至るお話を、石飛市長様からは当時の授業での思い出や人の心を豊かにする芸術にこれからも触れてほしいというお話を、鳥屋尾先生にはシルクロードに魅せられ、絵画制作のために何度も現地を訪れたご経験から、思うことに皆さんも是非挑戦し新しい発見をしてほしいというお話をいただきました。生徒を代表し、生徒会長より、様々なことに挑戦していくこと、絵を大切に受け継ぐことなどお礼の言葉を述べました。

生徒の感想では、卒業生の方々の姿や先生の絵画制作にまつわるお話、絵の素晴らしさに感銘を受けているものが多くあり、有意義な除幕式となりました。本当にありがとうございました。

掛合中学校のためにと動いていただいたお気持ちと、鳥屋尾先生制作の貴重な絵画を、共に大切にしていきたいと思えます。地域・保護者の方も、是非この絵画を見に来ていただければと思います。

《寄贈絵画:「シルクロードの詩(1991)」東光展会員賞受賞作品》



◆授業公開・学校関係者評価委員会を行いました



2月3日(土)今年度最後の授業公開を行いました。今回は、保護者並びに地域の学校評価委員の皆さんにも参観していただきました。どの学年も、地域課題探究の成果発表を行い、今後に生かせるよう保護者の皆さんに感想やアドバイスをいただきました。ご協力に大変感謝申し上げます。

授業公開の後に、学校評価委員会を行いました。学校の方から1,2学期の取組や、学校評価アンケート等をもとに成果と課題について説明し、評価委員会の皆様から感想や助言等をいただきました。それを受け、21日(水)に行われる学校運営協議会で説明を行います。学校評価等の内容につきましては、後日ホームページでお知らせする予定です。



◆地域のために～実現へ向けて～ 2年生

《授業公開から》

これまでの学習を生かし、2年生も来年度に向けて地域のためにできることを企画する段階に入りました。学習公開では、保護者の皆さんに考えを発表し、「産業」「福祉」「観光・歴史・文化」「環境」それぞれのグループに助言をいただき、感想では、「全体的に掛合の課題について、マイナスにするのではなく、プラスの強みと捉えて取組が考えられていて良かったと思いました。アンケートやインタビュー、発表内容も頑張られた様子がわかりました。発表を聞いて頼もしく思いました。」「皆がとても掛合のことを考えていて、私達ができることも人ごとにせず、していかないといけないと思いました。」など、様々ないただき、ありがとうございました。



《銀行の方から学ぶ事業計画の立て方》



2月16日(金)総合的な学習の時間に、山陰合同銀行掛合支店の立花支店長様を講師に迎え、自分達の企画について、

実現可能な事業計画の仕方等、具体的に指導を受けました。失敗を恐れず、実現に向けて工夫を重ね、頑張ってくださいというエールもいただきました。実施に向け、様々な力をいただきながら、前進を続ける2年生です。

◆学校保健委員会を開催しました



2月7日(水)学校医の田中悠大先生を始め、主任児童委員の方、掛合地区の養護教諭の方々をお招きして学校保健委員会を開催しました。会では、保健体育委員長と副委員長より、メディア接触の課題などについて、生徒会で呼びかけていきたいという考えを発表しました。委員の皆様からは、生徒の健康維持増進のための気づきや助言をいただき、今後に生かしていこうと思います。

ご多用の中ご出席いただきありがとうございました。